第4次天草市男女共同参画計画

令和6年度(令和5年度事業)

年次報告書

天草市 地域振興部 男女共同参画課

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

1 あらゆる分野における女性の参画拡大

施策の方向

(1)政策・方針決定過程への女性の参画拡大

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
1	意思決定の場に参画するための女性の人材育成 (男女共同参画課)	・ステップアップセミナーの開催 ・男女共同参画リーダー育成補助金の活用による人材育成	・ステップアップセミナー「みんなでパワーアップ大作戦」(3回連続)を開催し、コアメンバー(7人)を中心に、講演会・ワークショップ・市長との意見交換会を行った。ワークショップでは、グループごとに様々な意見が出て、今後の活動の第一歩になった。 講演会(12/2) ワークショップ(12/9) 市長との意見交換会(12/10) 参加者(延べ)64人 ・県主催の男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業研修へ参加した。 参加者:一般2人、職員1人	・政策、方針決定過程へ女性が参画できるように、内容を充実させ今後もステップアップセミナーを開催する。 ・男女共同参画の必要性、地域リーダーに必要な視点などを学ぶ研修なので、募集があったらホームページ等で周知し参加者を募る。
2	各種審議会等への女性委員の登用拡大 (男女共同参画課・全庁)	・市の審議会等への女性委員の積極的な登用 ・女性人材バンクの充実と積極的活用	・天草市男女共同参画週間事業イベントの1つとして、天草市男女共同参画推進ネットワークつのでネット～風～と共催で、パネルディスカッション「女性と政治」を開催した。 参加者:52人	・今後も推進団体等と連携を図りながら、男女共同参画に関する普及啓発を行う。
3	政治分野への女性の参画拡大に向けた理解促進 (男女共同参画課)	・男女共同参画推進団体等と連携した普及啓発活動の実施	・天草市男女共同参画週間事業イベントの1つとして、天草市男女共同参画推進ネットワークつのでネット～風～と共催で、パネルディスカッション「女性と政治」を開催した。 参加者:52人	・今後も推進団体等と連携を図りながら、男女共同参画に関する普及啓発を行う。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

1 あらゆる分野における女性の参画拡大

施策の方向

(1)政策・方針決定過程への女性の参画拡大

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
4	市役所における政策・方針決定過程への女性の参画拡大 (総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性職員の人材育成(研修派遣、キャリア形成研修など) ・女性職員の職域拡大(男女のバランスのとれた人事配置) ・管理職、監督職における女性職員の登用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修機関における専門研修の受講や熊本県等の外部機関への研修派遣等については、性別に関わらず意欲と能力の高い者を対象者に決定した。また、女性活躍推進を目的の1つとして、ダイバーシティ研修を実施し、性別や役職を混ぜた職員同士の対話型研修により、多様性を認め、生かす組織風土の醸成を目指した。 ・職員配置については、男女のバランスがとれた配置に努めた。加えて、管理職、監督職の登用については、職員のキャリア形成を意識した人事配置に努め、性別に関わらず能力と意欲のある職員を登用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が自己のキャリアデザインを明確にし、自身が伸ばすべき資質や能力を認識することで、それらの習得に向けて主体的に取り組む姿勢を涵養する必要がある。そのためには、キャリアデザイン形成を目的とした研修の実施が必要である。加えて、職員が伸ばすべき資質や能力の取得に向けた取組に注力するには、周囲の理解や応援も必要であるため、引き続き職員研修を通じたダイバーシティ&インクルージョンの組織風土づくりが必要である。 ・職員配置や、管理職及び監督職における女性職員の登用促進については、引き続き左記と同様の事項に取り組んでいく。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

1 あらゆる分野における女性の参画拡大

施策の方向

(2)就業や雇用分野における男女共同参画の推進

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
5	経営者層等の意識改革の促進 (男女共同参画課、契約検査課)	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍推進や仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)をテーマとした企業向けセミナーの開催 入札参加資格審査申請における女性活躍推進の状況調査 	<p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小企業トップ、管理職等セミナー「なぜ、税務関係団体が結婚支援をすることになったのか？」を開催。 講師：(一社)愛媛県法人会連合会 参事岩丸裕建さん 参加者：19人 <p>(契約検査課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4～5年度の物品購入等に係る入札参加資格審査申請書の記載項目の中に、女性管理職の人数を記載する項目を新しく設定し、該当する事業者の状況把握ができた。 	<p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年、企業向けのセミナーを開催するが、年々参加者が少なくなっている。どのような切り口で、女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランスをテーマとしたセミナーを開催すればいいのか検討する必要がある。 <p>(契約検査課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 次回の申請書提出で、女性管理者数の増減比較による状況把握はできるが、入札参加資格審査申請は、入札に参加するために行うものであり、経営者層等の意識改革という本計画の目的にどのように繋げるのか検討が必要。
6	女性の能力開発や起業の支援 (産業政策課、男女共同参画課)	<ul style="list-style-type: none"> IT等スキルアップ研修会の開催による人材育成 意思決定の場への参画を目的としたリーダー育成事業ステップアップセミナーの開催(再掲) 	<p>(産業政策課)</p> <ul style="list-style-type: none"> スキルアップ研修会には男女ともに学べる環境を整備しているが、特に女性の参加者も多く、就業の機会創出を図ることができた。 <p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ステップアップセミナー「みんなでパワーアップ大作戦」(3回連続)を開催し、コアメンバー(7人)を中心に、講演会・ワークショップ・市長との意見交換会を行った。ワークショップでは、グループごとに様々な意見が出て、今後の活動の第一歩になった。 講演会(12/2) ワークショップ(12/9) 市長との意見交換会(12/10) 参加者(延べ)64人 	<p>(産業政策課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も、個人、フリーランスに併せて、副業のニーズに対応するためにも、企業への案内・周知及び啓発を図る必要がある。 <p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 政策、方針決定過程へ女性が参画できるように、内容を充実させ今後もステップアップセミナーを開催する。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

1 あらゆる分野における女性の参画拡大

施策の方向

(2)就業や雇用分野における男女共同参画の推進

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
7	市役所におけるハラスメントの防止等に向けた体制整備 (総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント防止に向けた周知啓発 ・ハラスメントに関する相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めにハラスメントに関する苦情相談員を周知。「天草市職場におけるハラスメントの防止等に関する指針」も掲載し、周知を図った。 ・令和5年度ハラスメントに関する苦情相談員は、12人(男性7人・女性5人)相談員に対して対応等のマニュアルを配布。 ・メンタルヘルスケアサイトについて各種研修等において周知をする際、併せて相談窓口等も周知。 ・病院職員の研修にて啓発。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントの防止等に関する要綱により、相談窓口の設置部署は指定されているが、できるだけ男女の相談員となるよう依頼する等、相談しやすい体制を整えて行く必要がある。 ・職場におけるハラスメントの意識向上のため、研修等の実施や機会を捉えて周知を図る必要がある。
8	労働者のための労働雇用相談への協力 (男女共同参画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保険労務士会天草支部が開催する無料相談会への協力(会場確保、周知) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、月1回「働く人のための労働 雇用 年金 無料相談」を実施。毎月第3木曜日 午後1時30分～4時30分まで(こころすの会場確保、市政だよりへの掲載の協力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、今までと同様に協力を行う。以前に比べると、相談件数も増えてきていると感じている。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

1 あらゆる分野における女性の参画拡大

施策の方向

(3)仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)のための支援

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
9	ニーズに応じた子育てサービス等の充実 (子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における延長保育、一時預かり保育、病児・病後児保育、障がい児保育事業の実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施 ・放課後児童クラブの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり保育や障がい児保育事業等の実施により、保護者の負担軽減及び子育てしやすい環境づくりに繋げている。 ・仕事と家庭の両立を図るため、子どもの預かり及び送迎等を実施した。また、会員数確保のため、周知啓発活動等を委託先と協力して実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <会員数> 依頼会員:155人 協力会員:43人 <利用回数> 通常:255回(865時間) 病後児:0回 ・利用希望の多い中央部(本渡地域)において、施設整備へ補助を行い、放課後や長期休暇中の小学生の居場所の確保を行った。 <p>さくらスマイルクラブ創設(本渡地域)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と家庭の両立を図るため、今後も継続して実施する。 ・病児・病後児保育については、現在、実施している病後児保育に加え、新たに保育中の児童が微熱を出すなど「体調不良」となった場合に、緊急的な対応が行えるよう、事業の実施施設の確保に努める。また、ファミリーサポートセンター事業については、会員数が減少傾向であるため、引き続き周知啓発活動等を委託先と協力して実施し、会員数の確保に努める。
10	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の理解促進 (男女共同参画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等を対象としたセミナーの開催(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業トップ、管理職等セミナー「なぜ、税務関係団体が結婚支援をすることになったのか？」を開催。 講師:(一社)愛媛県法人会連合会 参事岩丸裕建さん 参加者:19人 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、企業向けのセミナーを開催するが、年々参加者が少なくなっている。どのような切り口で、女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランスをテーマとしたセミナーを開催すればいいのか検討する必要がある。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

1 あらゆる分野における女性の参画拡大

施策の方向

(3)仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)のための支援

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
11	<p>男性の家事・育児・介護への参画促進</p> <p>(男女共同参画課、健康増進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「男性にとっての男女共同参画」の理解に向けた啓発事業の実施 ・パパ手帳の配布 ・天草市母子・子育て支援アプリの登録促進 ・育児講座などによる父親の育児への参画促進 	<p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、特に、男性に特化したセミナー等は実施しなかったが、市政だよりで無意識の偏見(アンコンシャスバイアス)の特集を掲載した事で、男性の家事、育児等への参画促進になったのではないかと思う。 <p>(健康増進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時に母子健康手帳交付と併せて、パパ手帳の配付を実施。父の同席時には、父子健康手帳を配付。 ・妊娠届出時に母子・子育て支援アプリの登録を実施。 ・育児学級時には父の参加もみられる 	<p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市、他のセンターはどのようなセミナー、啓発を実施しているのかを検索し、今後の取組の参考にし、事業を進めていく。 <p>(健康増進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パパ手帳の配付及び父子健康手帳の配付を実施し、父の育児参加を促進していく。 ・母子・子育て支援アプリの登録について、家族共有機能の利用を促進し、父の育児参加を促進していく。 ・育児学級等父の参加を促進していく。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

1 あらゆる分野における女性の参画拡大

施策の方向

(4)農林水産業における男女共同参画の推進

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
12	経営への女性の主体的な参画の推進 (農業振興課)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性認定農業者の認定推進(共同申請を含む) ・農家における家族経営協定締結の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族経営協定締結の促進については、市単独補助事業「親元就農奨励金」の採択要件としたことにより、令和5年度に締結件数の増加が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、認定農家の会など関係団体等へ周知及び啓発を継続する必要がある。
13	農林水産物の新商品開発の支援 (産業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発支援事業補助金等の活用による女性の経営への主体的な参画推進 		<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を活用する対象者は農林水産業を営む個人又は団体等であり、申請においては必ず商工団体への相談を受ける必要がある。申請書、事業計画書、事業の効果、今後の目標等の書類の確認を商工団体からの助言を受け、商工団体の意見書を添えて、申請書一式を市に提出し、補助金の採択の可否を決定している。そのため、本計画の趣旨には沿わないと考えられる。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

1 あらゆる分野における女性の参画拡大

施策の方向

(4)農林水産業における男女共同参画の推進

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
14	農林水産業における意思決定への女性の参画拡大 (農業委員会事務局、農業振興課、農林整備課、水産振興課)	・農業委員会の業務遂行及び農業委員会組織の活性化等に向けた女性委員の参画 ・農協、森林組合、漁協等の団体への女性役員の登用にに向けた働きかけ	(農業委員会事務局) ・農業委員会業務において、更なる「農地利用の最適化」の推進を図る上で、女性委員の参画により活性化を図ることができた。 ・現職委員に対して、女性委員の積極的登用にに関する周知と候補者になり得る方の情報収集をお願いした。 (農業振興課) ・R5年度に「農業振興地域整備促進整備協議会」の委員見直しを行い、女性委員を13名中4名(1名増)し、30%の登用率となった。 (農林整備課) ・令和5年7月に開催された天草地域森林組合総代会において、初の女性理事1名が選任にされた。 (水産振興課) ・漁協等への女性役員の登用にに向けた働きかけを行ったが、参画には繋がらなかった。	(農業委員会事務局) ・農業者の高齢化と担い手不足による委員等のなり手不足が懸念される中、女性委員の積極的登用に向け、各地域での掘り起こしを行う必要がある。 ・令和7年4月改選に向け、JA等の関係団体への女性役員の登用にに向けた働きかけを事前に行う必要がある。 ・現場活動(申請箇所の現地確認等)が多く、単独での活動が難しい業務がある。 (農林整備課) ・森林組合の理事については、地区組合員からの推薦であるため、組合員全体への女性登用にに向けた働きかけが必要である。 (水産振興課) ・漁協の正組合員の割合としても大半が男性のため、今後も役員等への参画は困難な状況である。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

1 あらゆる分野における女性の参画拡大

施策の方向

(5)地域社会における男女共同参画の推進

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
15	地域団体における意思決定過程への女性の参画拡大 (まちづくり支援課)	・まちづくり協議会や地区振興会役員等(構成員)への女性の参画拡大	・令和5年度については、まちづくり審議会等の役員改選時期ではなかったため、女性委員の登用について、働きかけは行わなかった。	(課題)各地域においては、人材不足の中、男女問わず役員等を選挙することに苦慮されている。 (今後の取組み)まちづくり協議会委員など公募の際、女性人材バンク登録者を参考にするなど、支所等にも周知していく。
16	地域づくりリーダーの育成 (男女共同参画課)	・男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業等への派遣(補助金制度の活用) ・ステップアップセミナーの開催(再掲)	・県主催の男女共同参画社会づくり地域リーダー研修に参加した。(職員1名、一般2名) ・ステップアップセミナー「みんなでパワーアップ大作戦」(3回連続)を開催し、コアメンバー(7人)を中心に、講演会・ワークショップ・市長との意見交換会を行った。ワークショップでは、グループごとに様々な意見が出て、今後の活動の第一歩になったのではないかと思う。 講演会(12/2) ワークショップ(12/9) 市長との意見交換会(12/10) 参加者(延べ)64人	・コロナ禍で、ここ何年か県外出張の男女共同参画社会づくり地域リーダー研修も実施されなかったが、今年度は、久しぶりの実施で3人の参加があった。今後も、ホームページ等で周知を図り、参加者を募りたい。 ・政策、方針決定過程へ女性が参画できるように、内容を充実させ今後もステップアップセミナーを開催する。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

2 男女共同参画の視点からの安全・安心な暮らしの実現

施策の方向

(1)男女共同参画の視点からの防災力の向上

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
17	<p>防災分野における男女共同参画の視点の普及・確保</p> <p>(防災危機管理課、男女共同参画課、健康福祉政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定の場や避難所運営等における女性の参画拡大 ・防災部門と男女共同参画部門の平常時からの連携 ・職員研修、出前講座等による啓発 	<p>(防災危機管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災部署と男女共同参画部門で連携し職員研修を開催した。 <p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修として、防災危機管理課と合同で「男女共同参画の視点からの防災研修会」を開催。(11/1) 参加者:194人 対象者:避難所配置職員及び避難所運営業務委託受託団体等 出前講座の依頼はなかった。 <p>(健康福祉政策課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者避難所においては、国・県から示されているガイドライン等を参考に女性のニーズに配慮した避難所備蓄品として、生理用品をはじめ、乳児に対応するため、液体ミルクや哺乳瓶、粉ミルク等を各避難所に配備している。 	<p>(防災危機管理課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災部門への女性の参画について防災会議委員等への参画を検討している。 <p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も「男女共同参画の視点からの防災研修会」は、今回受講していない職員を対象にした研修会の実施を検討する。 出前講座についても、周知を図っていく。 <p>(健康福祉政策課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も女性のニーズに配慮した避難所備蓄品の充実を図るとともに、消費期限等に気を付けながら適宜、入替え・補充を実施する。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

2 男女共同参画の視点からの安全・安心な暮らしの実現

施策の方向

(2)女性に対するあらゆる暴力の根絶

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
18	相談体制の充実 (子育て支援課、男女共同参画課)	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談員の配置、相談員の資質向上(研修) 女性のための無料法律相談の実施 	<p>(子育て支援課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性相談員をこころす内及び牛深支所に1名配置して相談対応を行った。国や連絡協議会等主催の研修会の参加、オンラインでの研修会などにより、相談対応の資質向上を図ることができた。 法律相談も毎月1回実施し、延べ19人が相談された。 <p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、月1回「女性のための無料法律相談」を、子育て支援課(子ども相談係)と連携で実施。 毎月第3水曜日 午前10時～12時まで天草市在住の女性弁護士(2人)が協力 相談件数: 19件 	<p>(子育て支援課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年4月1日より困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行されることにより女性相談員を女性相談支援員に変更し、支援の充実を図る。併せて、女性相談支援員の対応能力の向上を図っている。 <p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も、今までと同様に子育て支援課と実施する。(昨年より3件増)
19	連携体制の強化、支援体制の充実 (子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> 「要保護児童対策及びDV防止対策地域協議会」の連携による被害者の保護支援 	<ul style="list-style-type: none"> 要保護児童対策及びDV防止対策地域協議会構成機関の連携による支援を行うため、代表者会議を始め各種部会等を開催した。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表者会議 1回 実務者会議 全体会 1回 教育部会 2回 情報共有会議 46機関 進行管理部会 2回 医療部会 1回 生活部会 1回 乳幼児部会 24回 ケース会議 随時開催 	<ul style="list-style-type: none"> 養育力の未熟さ、養育者等の精神疾患、家族関係の脆弱さ、経済的困窮などを抱える家庭の支援が必要な状況であるため、今後も各種機関と連携し対応して支援を行う。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

2 男女共同参画の視点からの安全・安心な暮らしの実現

施策の方向

(2)女性に対するあらゆる暴力の根絶

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
20	女性に対するDV防止のための広報、啓発の充実 (子育て支援課、男女共同参画課)	・デートDV防止リーフレットの中高校生への配布、広報紙等による啓発	(子育て支援課) ・デートDVの防止や認識の向上を図るため、市内の中学3年生及び市内にある高校の1年生を対象に啓発用のチラシを作成・配布を行った。 (男女共同参画課) ・女性に対する暴力をなくす運動期間(11/12～11/25)にあわせて、市政だより11月号にDV防止特集記事を掲載した。(相談窓口等)	(子育て支援課) ・次年度以降も継続して啓発を行っていく。 (男女共同参画課) ・DV防止特集では、相談件数が依然として高止まりであることや相談窓口は身近にあることを啓発出来たので、今後の状況を見ながら続けて行く。
21	子どもの頃からの人権教育の充実 (学校教育課、生涯学習課)	・学校での人権教育や性に関する教育の実施 ・子どもの人権学習機会の充実	(学校教育課) ・家庭教育講座等講師派遣 保育園(所)、小中学校、児童館等での講座時に社会教育指導員及び外部講師を派遣した。 (74回開催) 参加延べ人数1,302人 (生涯学習課) ・各校において、教育活動全体の中で人権尊重の視点に立った教育活動を行い、学校の中で子供一人一人の居場所を確保し、健全な心身の成長と人格形成に努める実践がなされている。学校での取組みについては、保護者へも取組み等を発信し、啓発を行っている。 具体的な取り組み ・学校・学級づくりによる豊かな人間関係づくり ・人権学習、道徳、学活、各教科等での教育の充実 ・各学期において、人権集会や人権に関する講話等の人権感覚を磨くための取り組み	(学校教育課) ・今後も継続して実施する。 (生涯学習課) ・人権学習などを通して「人権の尊重」について学習することで、児童生徒がお互いに相手の性を尊重し信頼関係をもって接することができ、小学校1年生から中学校3年生まで成長段階に応じた系統的な学習が実践されている。近年、LGBTに関する理解と意識改革が求められている。自分を含め、存在するすべての人が大切な存在であることを全ての教育活動において、さらに意識していく必要がある。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

2 男女共同参画の視点からの安全・安心な暮らしの実現

施策の方向

(3)生活上の困難に対する支援

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
22	ひとり親家庭等への支援 (子育て支援課、福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> 児童扶養手当の支給や医療費助成による経済的支援 日常生活支援事業の実施 就業に優位となる資格取得の際の生活安定のための給付金支給や受講料の助成 各種支援策の情報提供と相談体制の充実 	(子育て支援課) ・ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を図るため各種施策を実施した。また、児童扶養手当新規申請時や現況届の際などに各種相談を受けるとともに、各種施策の周知を図った。 児童扶養手当 支給延人数:6,457人 支給額:266,630,590円 ひとり親家庭等医療費 申請件数:5,569件 助成額:10,045,753円 ひとり親家庭等日常生活支援事業 延利用回数:94回 延利用時間:171時間 母子家庭等高等職業訓練促進給付金 受給者:8人 母子家庭等自立支援教育訓練給付金 受給者:0人	(子育て支援課) ・今後も、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を図るため、適切に実施する。
23	経済的な困窮家庭への支援 (福祉課、学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> 経済的に困窮した世帯の自立に向けた相談や就労等の支援 生活困窮者の子ども等を対象とした学習支援(生活困窮者自立支援事業) 就学援助費の支給 	(福祉課) ・R5生活困窮者自立支援事業(相談件数167件、プラン作成件数54件、プラン終結件数56件、就労支援対象者数16人、就労者数8人、増収者数3人)※R6.2末まで ・R5生活保護受給者のうち就労支援対象者数102人、就労者数22人 ※R5.12末まで ・R5子どもの学習支援事業利用者数(生活保護3人、生活困窮者6人) ※R6.2末まで (学校教育課) ・学用品・通学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、医療費、学校給食費等を給付している。 支給者数(要保護・準要保護計) 724人 (R6.2.19現在)	(福祉課) ・生活困窮者自立支援事業の相談者が減少傾向で、逆に生活保護申請者が増加傾向となっている。社会福祉協議会と連携し、生活保護に至る前の段階での支援を強化していく。 ・子どもの学習支援事業利用者数がここ数年少なくなっている。利用対象者に対して積極的に利用を促していく必要がある。 (学校教育課) ・経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の就学に必要な経費の一部を援助することにより、義務教育の公平かつ円滑な推進を図ることができた。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

2 男女共同参画の視点からの安全・安心な暮らしの実現

施策の方向

(3)生活上の困難に対する支援

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
24	高齢者の自立支援や健康増進、 生きがいづくり (高齢者支援課、生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブへの財政的支援 ・シルバー人材センター運営費の補助 ・介護予防活動の推進 ・生きがいづくりのための生涯学習の推進 	<p>(高齢者支援課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ連合会へ補助金支援を実施。 (R5:15,064,400円 185クラブ 会員数7606人) ・シルバー人材センター運営費補助を実施。 (R5:11,339,000円 会員数660人) ・介護予防の推進(一般介護予防) 住民主体の通いの場登録(R5 191団体)、認知症予防方法の実践を地域で行う脳いきいきサポーター養成(サポーター養成数(延)493人) <p>(生涯学習課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主学級の学びの成果を発表する場を設け、目標を持って取り組む環境づくりの推進及び支援を行ってきた。 ・「学び直しに図書館利用」をこころす階段下に掲示し、生涯読書のための図書館利用の周知を行っている。 	<p>(高齢者支援課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者人口の減少とともに老人クラブの会員数は減少傾向である。会員同士の見守り等をスマホを活用し実施するなど活動の幅も広がっており、引き続き支援を行う。 ・人材不足により、労働者の退職年齢の延長もあるため、シルバー人材センターの登録者数は減少傾向である。 ・介護予防で元気な高齢者を増やし、就労や地域活動につながるよう継続して支援を行う。 <p>(生涯学習課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も推進及び支援を続き行うとともに、生きがいにつながるような講座の開催に努める。 ・文字の拡大や音声読み上げが可能な電子書籍サービスを導入し、読書バリアフリーの推進を図っていく。
25	地域生活における障がい者の支援 (福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの特性や合理的配慮等についての理解促進に向けた研修・啓発事業の実施 ・障がい者相談の実施(地域障がい相談支援センターの運営) 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者週間に合わせて啓発イベント等を開催。その他、依頼に応じて出前講座等を実施。(17回 2737名)障がい者週間のイベントは年々参加者も増加し、日頃障がいのある方とふれあうことがない方にとっても、障がいについて考えることができる場となっている。 ・市内4か所に地域障がい相談支援センターを設置。延1474人(2月末現在)に対応。地域障がい相談支援センターへの相談件数も年々増加し、市民の身近な相談窓口となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者週間のイベントをより充実したものとしていく。障がい者週間以外の啓発活動も充実させていく。 ・自ら相談に向向くことが出来ない人へのアウトリーチ支援等を充実させていく。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

2 男女共同参画の視点からの安全・安心な暮らしの実現

施策の方向

(3)生活上の困難に対する支援

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
26	居住外国人への支援 (政策企画課、学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における外国人のための相談窓口の開設 日本語教室の開催、多文化共生への理解促進、やさしい日本語の普及 外国人児童生徒への日本語指導 	<p>(政策企画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 週2回外国人総合相談窓口を開設し、外国人や企業主などの困りごとの解決のため、必要な支援を行った。 隔月開催の日本語教室や、国際交流推進員による国際理解講座、日本人向けのやさしい日本語教室を実施し、多文化共生の推進を図った。 毎週2時間程度、外国ルーツの生徒に対しての日本語指導を実施した。(中学校1校) <p>(学校教育課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ダブルリミテッドの課題を持つ中学生1名に対し、日本語指導員が在籍するNPO法人に日本語指導業務を委託し、月10時間程度指導を行っている。 ※ダブルリミテッド・日本語の習得の遅れによって、母国語・日本語共に十分に発達していない状態のこと 	<p>(政策企画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在本渡地域を中心に事業を実施しているが、牛深地域をはじめ他の地域にも外国人居住者数が増加している状況であり、今後は本渡地域以外での支援方法等が課題である。 <p>(学校教育課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が持つ課題の内容はそれぞれであり、まずは日本語能力を測定するアセスメントの実施が必須である。今後、可能な部分については、市内NPO法人等に委託できないか可能性を探りたい。
27	性的指向、性自認に関する人権に係る配慮 (男女共同参画課、生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> 性的指向、性自認に関する人権に係る配慮 性の多様性に対する理解促進 	<p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> R5.6月に「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が施行されたことに伴い、11月に職員(R2～5年度の新規採用者)を対象に、「LGBTなどの性的マイノリティの人権に関する研修会」を開催した。 参加者：79人 「性の多様性に関する職員ハンドブック～職員が理解を深めるために～(令和6年4月改訂版)」を作成した。 <p>(生涯学習課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 老人会主体の地域での人権講座の実施 	<p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が施行されたことに伴い、職員ハンドブックの改訂版も作成できたので、今後の業務において適切な対応ができるよう周知を図っていく。 <p>(生涯学習課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 広い意味での人権に関する講座は開催しているが、内容を絞っての開催は実施していない。今後は、全体講座等での開催を検討したい。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

2 男女共同参画の視点からの安全・安心な暮らしの実現

施策の方向

(4)生涯を通じた健康支援

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
28	健康増進事業や生活習慣病対策 (健康増進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種健(検)診の実施 ・健康ポイント事業、健康イベントの開催 ・各種相談体制の整備(専門職による健康教育、戸別訪問) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種健診として、地域健診、施設健診、人間ドック等を実施 ・健康ポイント事業については、個人向け健康ポイント事業参加者が4,920人、事業所向け健康ポイント事業参加が30事業所、411人が参加。 ・専門職による健康教育、健康教室、訪問指導等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健(検)診の受診率向上のため、地域健診の申込みを公式ラインやインターネットからできるよう整備を令和5年度導入し、令和6年度から本格稼働する。 ・健康ポイント事業については、令和5年度見直し、令和6年度からアプリを導入し、利用者拡大を行う。 ・市民が保健センターに相談できることを知らない方も多いため、周知活動を促進する。
29	ライフステージに応じた健康支援 (健康増進課、男女共同参画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性特有のがんや健康問題に関する相談及び検診の受診促進 ・女性の健康セミナーの開催 	<p>(健康増進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性特有のがん検診については、地域健診、施設健診、人間ドックの他、個別健診として子宮頸がん検診は4つの医療機関と契約し実施。 <p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大塚製薬(株)と共催で女性のライフステージにおける健康セミナーを開催した。 講師:フォーシーズンスレディースクリニック 田畑 愛先生(10/29) 参加者:48人 ※もっと、早くこのようなセミナーを知りたかった。また、参加したい。と言う声があった。 特別コーナーとして、健康増進課ともコラボし、健康相談(血管年齢・骨密度測定)も実施 参加者:12人 	<p>(健康増進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検診を受け精密検査が必要な方が受診される率は、子宮頸がん検診(85.1%)乳がん検診(89.8%)と受診率は高い。早期発見のため検診の受診率をあげるための啓発活動を行う。 ※精検受診率はR6.2月末現在 <p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、大塚製薬(株)と共催で、女性の健康セミナーと健康増進課とコラボした、健康相談(血管年齢・骨密度測定)を実施する。もっと、参加者を増やすための対策を考える必要がある。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

2 男女共同参画の視点からの安全・安心な暮らしの実現

施策の方向

(4)生涯を通じた健康支援

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
30	<p>妊娠、出産等に関する健康支援 (健康増進課、子育て支援課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診事業 ・産前・産後サポート事業 ・産後ケア事業 ・産婦健康診査事業 ・一般・生殖補助医療費助成事業 ・早産予防事業 ・新生児検査費助成事業 ・離島妊産婦等健康診査支援事業 ・妊産婦への家事・育児支援 	<p>(健康増進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健康診査受診票の交付数354人、妊婦健康診査4385回受診。 ・産前産後サポート事業の参加者数610人、相談209人。 ・産後ケア事業利用者数(延べ)352人 ・産婦健康診査事業として、産後2週間目、産後1か月目の健診を延650人実施。 ・一般・生殖補助医療費助成事業については、一般30人、生殖補助25人に対して助成を実施。 ・早産予防事業として、妊婦婦歯科健診268人、膣分泌物細菌検査360人実施。 ・新生児検査費助成事業として、355人実施。 ・離島妊産婦等健康診査等交通費補助事業として、7人に対して助成を実施。 <p>(子育て支援課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭訪問等支援事業により、妊産婦への家事や育児支援を実施した。 延利用回数: 460回 延利用時間数: 1,574時間 	<p>(健康増進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健康診査受診票の交付数11増、及び妊婦健康診査203回増と前年度より増えている。引き続き早期の妊娠届を勧奨していく。 ・産前産後サポートの仲間づくりでは、前年度より148人増加している父親向けの講座などもあり、内容の充実が図られている。母子・子育て支援アプリ等を活用した周知啓発を行っていく。情報発信を行っていく。 ・産後ケア事業の利用者数は前年度より89人増加している。産後ケアが必要な人の利用をすすめていく。 ・一般・生殖補助医療事業については、周知啓発を行っていく。 ・早産予防事業については、妊婦歯科健診の受診率は75.7%であり、100%になるように勧奨を行っていく。膣分泌物細菌検査はほぼ100%実施できている。 ・新生児検査の受診率はほぼ100%と高いまま維持できている。 ・離島妊産婦健康診査等交通費補助事業については、母子保健事業・子育て支援サービス利用時に拡充し実施。事業の周知啓発を徹底していく。 <p>(子育て支援課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦への家事・育児の支援については、令和5年度から妊産婦にとどまらず、養育に課題がある家庭に対し、家事や育児の支援を行う子育て家庭訪問等支援事業により実施している。さらに、令和6年度からは支援が必要であると認められる世帯に対し、利用勧奨を行い、なお利用につながらない子育て家庭に対し、利用措置を実施していく必要がある。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

3 男女共同参画社会の実現のための意識改革

施策の方向

(1)男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発の推進

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
31	男女共同参画社会の理念や内容についての理解促進 (男女共同参画課、生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間事業の実施 ・まちづくり講座や出前講座等の実施による啓発 ・市立図書館等における男女共同参画に関する図書資料等の充実及び情報提供 	<p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間事業(あまくさつんのフェスタ)の開催(2/18)その関連イベントとして、あまみんカフェ(里親制度:2/15)、パネルディスカッション(女性と政治:2/17)、子育てセミナー(報告会:2/18(AM))を実施した。(全体の参加者:203人)パネル展示:10団体 ・まちづくり講座を5回開催。 防災講座:4回 (ここらす、天草町、栖本町、河浦町) 参加者:218人 講師:歌う防災士柳原志保さん 男女共同参画講座:1回(天草町) 参加者:32人 講師:熊本県立大学 岡田明日香先生 ・男女共同参画センターが行う事業の時に、関連図書を展示したり、チラシを設置してもらった事で、男女共同参画の啓発に繋がった。 <p>(生涯学習課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館では、6月に「男女共同参画週間」、11月に「女性に対する暴力をなくす運動」、2月に「天草市男女共同参画週間」の特設コーナーを設置した。(貸出回数:21回) ・11月に開催された有明地区文化祭でLGBTQへの理解を深めるコーナー展示のため、地区振興会の要請により、子どもが理解できるLGBTQや多様性についての図書の貸出を行った。 	<p>(男女共同参画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間事業(あまくさつんのフェスタ)は、継続して行う。内容については、実行委員会を立ち上げ、協議して決定する。 ・まちづくり講座、出前講座も周知を図り実施していく。 ・今までどおり、男女共同参画センターが行う事業の時は、チラシを設置してもらったり、関係図書を展示し啓発を図る。 <p>(生涯学習課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も特設コーナーを設置し、図書やチラシ等で情報提供を行い、理解促進を図っていく。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

3 男女共同参画社会の実現のための意識改革

施策の方向

(1)男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発の推進

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
32	固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の解消 (男女共同参画課)	・ホームページ、広報誌、SNS、講座、男女共同参画週間事業等による啓発事業	・市政だより8月号の特集で、「気付こう！無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」の記事を掲載。 男女共同参画週間事業「つんのでフェスタ」のパネル展では、アンコンシャス・バイアスの特集記事を展示し、アンコンシャス・バイアスに関するチェックシートを来場者向けに行った。(チェックシート記入者:43人)	・固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関してどのような手段で啓発事業を行っていくのか検討する必要がある。男女共同参画週間事業でのパネル展は、継続して行っていく。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

3 男女共同参画社会の実現のための意識改革

施策の方向

(2)男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実、人権尊重の理解促進

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
33	子どもに対する男女共同参画の視点に立った教育の充実 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育全体を通じた指導の充実 ・性別にとらわれない進路指導の充実 ・教職員等における研修の充実と研修会等への参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園において、幼児は、身近な環境に自発的にかかわり、幼児期にふさわしい遊びや生活を通して、多様な意見を積み重ねている。その中で男女共同参画の視点に立ち、他者の思いに気づいたり、認め合ったりする場、自己肯定感を育む場を大切にしながら指導に努めるなど、各園で工夫して、今できる幼小連携に取り組むことができた。 ・小中学校においては、教育の根幹に人権教育を据え、学校教育活動全般を通して、役割分担やグループング等男女混合で設定して取り組み、その中で、男女平等の意識を高め、理解を深めることができている。また、学級活動や保健体育において性に関する指導を通じた性の理解のもと、相手と協力し合ったり、一人一人を大切に、互いを思いやる行動をとったりするよう指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児・児童生徒は、園・学校生活において男女関係なく何事にも協力して取り組む姿勢を身につけながら成長している。その中で、男女が互いに平等であり、尊重し協力し合うことの大切さを学び、一人一人を大切に、互いを思いやる心が育てられている。 ・幼保小連携については、今後も互いのよさを学びつつ、子供の学びと育ちをつなげることを意識した連携を大切に取り組んでいきたい。
34	互いを尊重し合う人権教育・啓発の推進 (生涯学習課、男女共同参画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権講座や人権学習会の開催 ・公民館講座の実施、男女共同参画の視点を踏まえた周知啓発 	<ul style="list-style-type: none"> (生涯学習課) ・老人会主体の地域講座で市及び人権擁護委員の出前講座を利用しての人権講座の実施し、市民の人権意識の啓発に努めた。 (男女共同参画課) ・まちづくり講座を5回開催。 防災講座:4回 (こらす、天草町、栖本町、河浦町) 参加者:218人 講師:歌う防災士柳原志保さん 男女共同参画講座:1回(天草町) 参加者:32人 講師:熊本県立大学 岡田明日香先生 	<ul style="list-style-type: none"> (生涯学習課) ・引き続き、人権に関する講座の開催を計画する。 (男女共同参画課) ・今後も、各支所に男女共同参画の視点を踏まえた講座の働きかけを行い、男女共同参画社会づくり推進のための意識改革に繋げて行く。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

4 男女共同参画推進体制の充実と連携強化

施策の方向

(1)市の推進体制の強化と県や他市町村との連携

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
35	市の推進体制の充実 (全庁、男女共同参画課)	<ul style="list-style-type: none"> 各施策への男女共同参画の視点の反映 計画の進捗管理、審議会の意見反映、年次報告書の公表 	<ul style="list-style-type: none"> 第4次男女共同参画計画は、各課の具体的な施策を盛り込んで作成した。 今年度は、第4次男女共同参画計画作成後、最初の実施状況調査となるため、疑問点は各課に聞き取りを行い作成した。審議会の意見を踏まえ、年次報告書を作成し、公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 第4次男女共同参画計画は、R5年度～R11年度の7か年である。各課の具体的な施策、成果指標の目標値に少しでも近づくように各課との調整を図り、男女共同参画の視点が反映されるように進めていく。
36	職員の意識啓発 (男女共同参画課)	<ul style="list-style-type: none"> 市職員の研修の実施、情報提供の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修として、防災危機管理課と合同で「男女共同参画の視点からの防災研修会」を開催。(11/1) 参加者：194人 「LGBTなど性の多様性に関する職員研修会」を開催。(R2～5新規採用職員対象)(11/8) 参加者：76人 研修会を通して、「様々な視点から取り組んで行かなければならないと思った。このような研修会には、積極的に参加し、もっと知識を身につけたいと思う。」という意見があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修会を開催し、男女共同参画の視点からの取り組みが少しはわかってもらえたのではないかと感じている。今後も、必要な研修なので対象者を広げて開催していく。
37	県や他市町村との連携 (男女共同参画課)	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の推進に関する先進的な取組事例や人材などの情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 県主催の市町村男女共同参画計画策定勉強会では、「男女共同参画計画の策定にあたって～天草市編～」という事で事例発表を行った。 県の男女共同参画センター(パレア)が発行する熊本県男女共同参画通信「ならんで」に取組が掲載された。 また、初の試みとして3/8の国際女性デーにあわせ、県内3つの男女センターが3月を「くまもとミモザ月間」として様々なイベントを行う事になり、(一社)あまみんと共催で、パーソナルカラーセミナーを開催した。 参加者：54人(延べ) 	<ul style="list-style-type: none"> 県内3つの男女センターが連携してイベント等を開催したことで、それぞれの事業の啓発・周知が図られた。今後も、お互いの情報発信を密に行い、男女共同参画センター業務の周知・啓発に務める。

「第4次天草市男女共同参画計画」実施状況報告書

重点目標

4 男女共同参画推進体制の充実と連携強化

施策の方向

(2)市民や各種団体等との連携・協働による取組の推進

No.	具体的施策	取組内容	取組成果	課題・今後の取組
38	男女共同参画センターの機能充実 (男女共同参画課)	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター登録団体への支援と協働による啓発事業の推進 多様な団体とのネットワークの構築 課題の的確な把握と情報発信 魅力ある啓発展示物等の充実 複合施設の利点を生かした交流の活性化 相互支援ネットワーク(全国女性会館協議会)の活用による災害時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センターの登録団体:12団体(R6.3.31) 登録団体と共催で、セミナーを開催した。(パネルディスカッション、パーソナルカラーセミナー等) 市政だより8月号で、無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)についての特集を掲載し、周知・啓発を図った。 「あまくさつんのでフェスタ」では、無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)に関するパネルを展示し、来場者にチェックシートに記入してもらった。(記入者43人) こらす3周年記念を兼ねて、複合施設こらすの課全体での取組イベントとして「こらすフェスタ」を開催した。(7/29) 防災講座 講師:柳原志保さん 参加者:39人 ※防災グッズの展示(体験談に基づいた話だったので、考えさせられた、どんな時も配慮が大事だと思った。等の感想があった。) 相互支援ネットワーク(全国女性会館協議会)との連携の確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 登録団体数を目標値の18団体に近づくように周知を図る。 登録団体を始め、様々な市民活動団体とのネットワークを広げていく。 今後も、固定的性別役割分担意識や無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)等についての周知、啓発を図っていく。 「こらすフェスタ」や「つんのでフェスタ」で、男女共同参画推進関係のパネル展を行う。 昨年同様に「こらすフェスタ」を開催し、複合施設こらすの魅力を伝えていく。(まだまだ、市民に知られていないため) 今後、どこで大規模な災害が起こるか分からないため、相互支援ネットワーク(全国女性会館協議会)との連携は必要なので、研修会に参加したり、即座に対応できる体制をとっていく。